

拝啓 麗春の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、No.613 番船は、4月23日に進水を迎えるに至りました。これも偏に皆様のお陰と、役員一同心より厚く御礼申し上げます。

役員のだんが、初めての進水式であり、胸躍る心境と言いたいところですが、正直不安の方が先行しております。では、平成4～5年の内航船の建造ラッシュの時はというと、経験豊富な私共の諸先輩方でもやはり進水というのは、不安と期待が交錯したとのことでした。

全国的に桜が開花しているようですが、能美島は何もなくとも、花は多い島で、幸いに心癒されております。

朝晩の気温差の激しい時期でもあります。皆様どうぞご自愛の程宜しくお願い申し上げます。

瀬戸内中央汽船株式会社 取締役一同



3月23日 船体移動しました

船体を約32m 船尾側に移動しました。失礼な話ではありますが、建造ラッシュの中、最近の建造造船所で、内航タンカー業界では聞きなれない造船所の名前もよく耳にしますが、このように船体を移動して、船台拡張等大きな設備投資をせずに、より大きな船型の建造を可能にしている仕組みの1つなのでしょう。

船尾部が海水に浸かることを危惧しておりましたが、満潮時でもブラペラの先端部が多少浸かるぐらいで、一先ずは安心しております。

3月28日 No.613 建造見学会を開催しました

起工時より、株主殿に対しての建造見学会を開催させて頂くことを計画しておりながら、随分遅くなり申し訳ございませんでした。



上野トランステック 戸松様にもお立会頂き、ご参加者の皆様の意見もお聞きし、再度問題点等検証することが出来、非常に参考となりました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

又、今後も、再度本船を見学されたい場合や、今回ご都合によりご参加頂けなかった株主様におかれましてもいつでもお声を掛けて下さい。

* 大河内さん、早瀬さんお疲れ様でした。

*** 内航海運協業化に関する意見募集について ***

外国人船員について

やはり、人材及び労働力不足に対して、早期に対策を講じた造船所の方々の所見からすると、内航海運にもやはり、外国人船員を導入することが効果的というか、やむを得ないのでは？との意見をよく伺います。外航船や近海船を顧客とする造船所であれば尚更でしょう。しかし、瀬戸内海

等の船舶輻輳水域、狭水道航行等についての安全面が確保出来るかという議論に関しては、“うーん”と考えこんでおられます。

又、先日、No.613についての日本海事協会(NK)殿と当社及び造船所で、本船建造上、クリアしなければならない条約、関係法規についての打合せに参加させて頂いた中で、「現在或いは今後、改正されることが予想される条約等の一覧表のようなものは頂けないか」と質問したところ、『量が膨大過ぎて纏まりがつかないので、どの条約について〇〇の設備で対応可能か?という具体性がないとお答え出来ない』という回答でした。

これらの問題について、私共が軽々しく議論することは出来ませんが、乗組員というソフト面、船舶及び設備というハード面の両面から、大きな岐路というか選択を今後ますます迫られることとなると考えています。何年も前から“グローバリズム”が押し寄せ、業界全体で憂慮されてきた筈ですが、いざ喉元に突きつけられても無力さを感じるばかりです。

そもそも、外国人船員を何故採用しようとするのか?というところ

1. 人件費が日本人よりも安い
2. 危険作業や厳しい労働環境にも耐えられる
3. 日本の労働人口が減少している

というところでしょうが、現在では2. 或いは3. の為であると考えられます。

では仮に法が許したところで、外国人船員内航船員として採用出来るのかということ、そんなノウハウは勿論ないし、世界的な船員不足と言われ、国内外航大手3社でさえも苦慮していると言われる中、外国人船員を確保出来るのでしょうか?

内航海運業に携わる者として、勿論、国防や技術継承等様々の観点からも、日本人船員の確保、育成を最優先することは当然ですが、いざ労働力がなくて危機的状況になった時の為に、ある程度の準備も必要ではないかと考えています。

No.613 進水式式典及び進水祝賀会について

日程等につきましてはご案内状の通りでございます。前日及び当日のことにつきご不明な点等ございましたら、当社、花田又は谷村までお問い合わせ下さい。

補足として以下の点につきお知らせいたします

- *前夜食事会、進水祝賀会及び宿泊の会場であるグランドプリンスホテル広島には駐車場は充分ございますので、お車でのお越も可能です(但し飲酒運転とにならないようご配慮下さい)。
- *当日早めにチェックインして頂いても構いません(当社役員が15:00頃より待機しております)。
- *ホテルから中谷造船(株)までの移動については、ホテル側にて手配しております。当社役員が誘導致しますので宜しくお願い致します。

当日は宜しくお願い申し上げます。

<編集後記>

白石です。いよいよ進水式です。もちろん初めての経験ですので、今からわくわくしています。嬉しさとお楽しみの半面、一方では船員確保に向け、常に危機感を抱いているのが本心です。現在の船員内定状況としましては、デッキ1名、エンジン1名といったところで、進水後の艤装にはデッキ・エンジン各2名体制を考えており、内定保留者もいる事から、今のところはほぼ予定通りに採用が出来ている状態です。船員確保につきましては、より優秀な人材を確保すべく、瀬戸内中央汽船(株)役員全員のネットワークを張り巡らせ日々活動しているところであります。竣工1ヶ月前までには一つのチームを作り上げるべく、汗をかきかき張り切っていきます。

次回は花田会長です。

